<文責：大学受験予備校Filio 島村青児>

長文読解問題で文法・語法問題が出題される

『関大では文法・語法問題は出題されないからトレーニングしなくていい』なんて考えてる君！早とちりしたらダメだよ！実は長文読解問題、特に[Ⅱ]の空所補充問題で文法・語法問題が出題されるんだ！

空所補充問題の内容

[Ⅱ]の空所補充問題で問われる内容は次の2種類。
①文脈型（設問全体の約57.6%）
②知識型（設問全体の約42.4%）

この40%を超える②の知識型の設問が、文法・語法の知識が必要な問題なんだよ。「文脈型と知識型の融合問題」まで含めるともっとパーセンテージが上がるんだから、『文法・語法問題はやらなくてもいい』なんて言えないだろ？
じゃあ、関西大学でどんな風に文法・語法問題が出題されているか、実際の過去問題を見てみることにしよう。

例題1
They collected all of the crop circle reports from the press and had a good laugh about them [　　] their beer.

空所に入れるのに最も適当なものを選べ。

A.over

B.for

C.into

D.at

【2013　関大・理工】

正解と解説はこちら ▲

【正解】A

Point in Check

- 知識型（語法）
- over their beer「ビールを飲みながら」
- over A:「Aを飲食しながら」は基本的な語法知識だけれど、知らなかったら解けない問題だよ。できたかな？ じゃあ、もう1題やってみよう。

例題2
Mas Masumoto, now 61, grew up on that farm. His parents bought it after their release from camps [　　] the US government isolated Japanese-Americans, who had been discriminated against during World War Ⅱ on the basis of their ethnic background. After the war, a substantial Japanese-Americans community lived here.

空所に入れるのに最も適当なものを選べ。

A. that

B. which

C. where

D. until

【2016　関大・理工】

正解と解説はこちら ▲

【正解】C

Point in Check

● 知識型（文法）

● この問題は「関係詞」の文法問題。

● 空所直後のthe US government isolated Japanese-Americans, who…は足りない名詞がない完全な文（SVOの第3文型）になっているので、関係副詞のwhereが正解。Aのthatは関係副詞で使えるけれど、先行詞がcampsなので×だよ。先行詞がthe placeなら〇っていう文法問題のよくあるパターン。

1冊は文法・語法問題集を仕上げておこう

どう？ 関西大学でも文法や語法の知識が出題されているって納得してくれた？分かってくれたら、早い段階で1冊文法・語法問題集を仕上げておいてね。
そもそも入試問題の作成者は受験生のいろんな知識、能力を試そうとしているんだよ。見た目は長文問題でも、試されるのは読解の力だけじゃないんだ。

英語の問題で問われる内容ってなんだろう？

それはね、英語の「正しい順番」なんだ。君たちが中学・高校で習ってきたのはその「正しい順番」なんだ。

英語で大切なのは「順番」だ！

日本語と英語を比較してみよう。
①私はたくさんお金を持っている。【日本語】
②I have a lot of money.【英語】

日本語では「助詞」の働きによって語句の位置を変えることができるんだ。例えば、「は」(wa)によって「私」は主語だと分かるから「たくさん私はお金を持っている」とか「たくさんお金を私は持っている」のように前後の順番を変えても正しい日本語が成立するよね。

でも、英語では Have I a lot of money. とかHave a lot of I money. とすることはできない。それは英語では動詞の前には主語がないといけない、つまり主語＋動詞っていう並び方が決まっているからなんだ。君たちは中学や高校で、英語の単語や語句や文の正しい並び方、順番を学んできたんだよ。

じゃあ、英語の順番はどんなルールで決まっているんだろう？入試で問われるのがどんなルールなのかが理解できれば入試の対策もしやすくなるよね！

英語の順番を決めている3つのルール

①語法によって決まる順番
②文法によって決まる順番
③論理によって決まる順番

入試問題では3つのルールの理解が試されるんだ。

例えば例題1では前置詞overの語法による順番が、例題2では動詞isolatedの語法と関係副詞の文法の順番が問われているんだよ。大学によって3つのルールに対するウエイトは違うけれど、必ず①②③の知識や理解が試されるんだ。次回の講義では、関大の会話問題で問われるルールを解説するよ。